

2012年3月15日

各位

株式会社 マイクロン

**抗がん剤耐性に関与する酵素の分子イメージングに係る
共同研究開始に関するお知らせ**

株式会社マイクロン（本社：神戸市中央区、代表取締役社長：佐藤誠）は、岐阜大学 医学系研究科との間で、抗がん剤耐性に関与する酵素の分子イメージングに係る共同研究を開始いたしましたのでお知らせします。

弊社は、PET (Positron Emission Tomography; ポジトロン断層法), CT(Computed Tomography; コンピューター断層撮影法), MRI(Magnetic Resonance Imaging; 核磁気共鳴画像法)といったイメージング技術を用いた臨床試験を総合的に支援するとともに、PET トレーサーの合成やサル・ラット・マウスなどを用いた動物PET試験といった非臨床分野における研究開発支援を行っております。

弊社では、特に PET を用いた診断および医薬品の開発支援や研究開発に注力しておりますが、癌は、その主要な対象疾患のひとつであります。

多くの抗がん剤が開発される中で、脳腫瘍は、その治療薬の開発が最も遅れている分野のひとつでしたが、近年、経口のアルキル化剤テモゾロミドカプセル（以下、テモダール）が登場し、脳腫瘍の化学療法を一変させる状況になっております。しかしながら、他の抗がん剤と同様、耐性化によって、薬効が低下する問題があり、その原因は、MGMT (O-6-メチル化 DNA 修復酵素) という酵素の誘導であることが明らかになっています。

弊社では、このMGMTをイメージングすることにより、テモダール耐性の有無を診断することが可能になれば、臨床的な意義が非常に高いと考え、名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科学講座の協力のもと、 $[^{11}\text{C}]$ メチルラベル化のための高速C-メチル化反応を用いた化合物のPET トレーサー化の設計技術を持つ、岐阜大学医学系研究科 生命機能分子設計学分野 助教 古山浩子らのグループと共同で、MGMT に対する特異的なPET トレーサーの開発を行うこととしました。

今後、弊社と岐阜大学が共同して、PET トレーサーの候補品の開発を行い、名古屋大学の所有するMGMT 発現細胞を用いてこれらを順次評価し、臨床応用へと展開していく予定です。

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マイクロン

担当者 : 研究開発部 広瀬国孝 TEL : 03-6225-2555

E-mail : info@micron-kobe.com

会社 URL : <http://www.micron-kobe.com/>